

「共に生きる日野町」

認知症になっても笑顔で元気に
共に暮らしていける日野町を目指して

9月は「アルツハイマー月間」です。この期間は、皆さんで認知症を学び、正しく理解する月間です。日野町でも、9月から役場ロビーに認知症に関する本のスペースができていますので、この機会に本を読んで理解を深めてみてください。



共に生きる家族へのメッセージ 認知症の本人の方々の思い

(認知症サポーター養成講座教材より抜粋)

★家族への感謝の気持ちは絶えず持っています。一番大切な存在です。

- ①できることはできるだけ自分でしたい
- ②心配をかけているとは思うけど、できる限り自分のことは自分でできるように手伝ってほしい
- ③時には失敗するけど、そこからまた新しい工夫が生まれるので、一緒に考えてほしい
- ④診断されても自分は自分。変わらないことを理解してほしい
- ⑤本人が自分らしく暮らすことだけが大切ではなく、家族も自分らしく暮らしてほしい
- ⑥家族以外との人間関係もこれまで通り大切にしたい
- ⑦自分が地域の人たちの助けを借りながら元気であることで、家族を楽しみたい
- ⑧家族と離れて暮らしているが、それぞれの暮らしがあるので、家族に負担をかけずに地域の人たちと楽しく暮らしていきたい

認知症は恥ずかしい病気ではありません。誰もが年を取っていけば認知症になる可能性はあります。認知症の知識をもって、早い気づきが症状を進行させない一番の方法です。

家族だけでがんばらないで早く相談しましょう

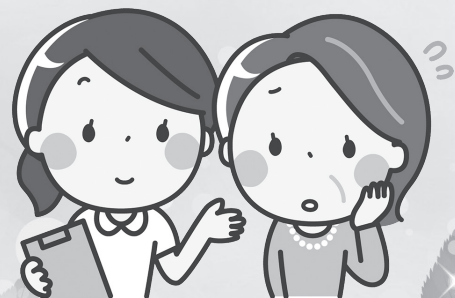
1. 認知症相談窓口 日野町地域包括支援センター

電話番号：0859-72-0339

2. 各個人かかりつけ医（主治医にご相談ください）

3. 鳥取県認知症コールセンター（認知症と家族の会鳥取県支部）

電話番号：0859-37-6611



家族は相談できる人を周囲にたくさん作りましょう！

【住宅火災による死者数のうち 65 歳以上の高齢者が 7 割を超えています】

さまざまな火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ています。

その出火原因は、タバコ、ストーブ、コンロ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。日ごろから取り組んでもらう防火対策として、4 つの習慣を取りまとめました。

ぜひ家族で住宅火災から「命」を守るための対策をご確認ください。



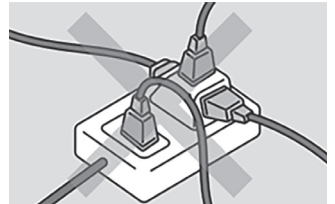
①寝タバコは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



③コンロを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほごりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

【問合せ先】鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課（電話 0859-35-1954）

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



瞬間接着剤の使用によるやけどに注意！

～つけ爪用接着剤にも使用されています～



《こんな事故》つけ爪用瞬間接着剤を親指の爪につけたところ、手のひら側に垂れ、ティッシュペーパーで拭き取ったところ、やけどをした。皮膚科を受診すると、Ⅱ度の熱傷で1カ月以上通院することになった。商品の使用方法を熟読したが、使い方によってやけどを起こすなどの表示はなかった。（20歳代 女性）

瞬間接着剤はティッシュペーパーや衣類などの染みこみやすい繊維質のものに付くと短時間で発熱し、やけどをすることがあります。国民生活センターでテストしたところ、十数秒で最高 170℃ 近くに達する場合もありました。使用時には、ポリエチレン手袋を装着しましょう。

〈使用中に誤って付着させた場合の対処方法〉

- ・衣類に付着した場合は、発熱のおそれがあるため、大量の水をかけてください。
- ・手指など皮膚に付いた場合は、慌ててティッシュペーパーなどで拭き取ったりせず、40℃ くらいのお湯の中で、もむようにはがしてください。
- ・家具などにこぼした場合には、ポリエチレン手袋をしたうえで布などで手早く拭き取りましょう。

拭き取った布などは発熱するおそれがあるため、取り扱いには注意してください。

【国民生活センター発表資料より】



日野郡 3 町では、第 1・2・3 水曜日に相談員が輪番で対応しています。（くらしのカレンダー参照）

★相談は、消費生活相談窓口（役場産業振興課内）（電話 72-0336 または局番なしの 188）へ！